

學藝會の模様を報ずる文

謹啓此の頃は日増寒冷の候と相成候所貴君益々御健勝の段奉賀候、次に私事無異通學致し居り候間、御体神遊ばされ度願上候、さて御承知の通り去る十一月九日に當町なる男子小學校に於て學藝會を舉行致し候ひき左に當日の状況概略報導いたすべく候。會場は本校の南體操場に有之正面には「啓發」と大文字に書きし額面を掲げ其の前には菊の今を盛りと咲きたる黄白の大輪總の如き活花あり、上には萬國々旗を以て裝飾し、実に壯觀を極め申候、左側には佐竹男爵金子郡長、舟田町長、其の他町の重立者等相並び中の席は父兄母姉並びに一般の來觀者に有之先生及び我等の席は右側に設けられ申候、種目としては談話唱歌黑板畫席書等に有之黑板畫席書の成績は大人も及ばぬ程によく出来、談話唱歌等の如きも実に覺おる程の良結果にて候、殊に幼年級の談話唱歌は愛らしく觀衆をして拍手喝采いたさしめたる程に御座候、其の他先賢遺墨我等の成績品教具及び古今武具等の展覽會も有之候て殊に我等の参考と相成候事は古今武具の變遷を示せる陳列に候、種々の盆栽等も位置よく各々陳列室に配置せられたる等実に盛況にて候へば此の一日は甚だ愉快に感ぜられ貴君の榮覽に供し度程に候ひき、先づは右當用まで斯くの如くに御座候

頓首

※注（草書体「候」「間」は異体字）

高一 舟坂太吉